

私たちの“平野区”について、語り合っています。

～平野区地域福祉アクションプラン策定の取り組みをとおして～



大阪府平野区社会福祉協議会
〒547-0043 大阪府平野区平野東2丁目1番30号
平野区在宅サービスセンター
(にこにこセンター)
☎06-6795-2525
FAX06-6795-2929

おたがいの
人権守って 明るい平野区



平野区人権啓発推進協議会

平野区には、こんな課題があるんじゃない？

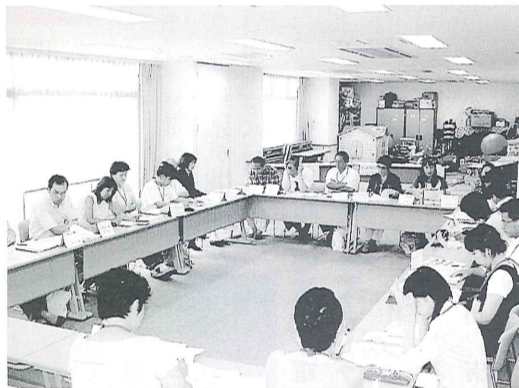
平野区について、「気になること」を出し合いました。

- 情報が行き渡っていない。
- 外国の方への情報が少ない。
- 子どもが安心して遊べる場所が少ない。
- 何か取り組もうと思っても、活動場所がない。
- 中・高生の居場所・活動場所がない。
- 市の補助金など活動資金が少ない。
- 区内にいろいろな活動・団体があるが、お互いに知らないことが多い。
- 行政の縦割りの弊害が大きい。
- 住民のマナーが悪い。
- 障害のある方が住みにくい街だと感じる。
- 区内の交通の便が悪い。
- ひったくりが多く、治安が悪い。

など

現在、市内二十四区において、各区の実情にあった福祉のまちづくりのための計画（地域福祉アクションプラン）を住民主体で作る取り組みが進められています。平野区においても、今年度末のプラン策定を目指し、昨年度より、区内団体代表等による策定委員会と、住民参加による作業部会を発足し、調査や検討を行っています。作業部会は、さまざまな人が参加し、調査活動などを実施しながら、徹底して議論することにより具体的なプラン案を作る組織として、昨年十二月に発足して以降、毎月一回会議を開いています。毎回三十人前後が参加し、平野区の現状や課題、今後どんなまちにしたいか、住民に何ができるか、など、さまざまなテーマで議論をし、平野区について考えています。

アクションプラン 作業部会



毎回、グループに分かれての討議や全体での意見交換、テーマごとのミニ部会からの活動報告などを行っています。また、区内でさまざまな活動をしている方が多く、メンバーどうしの情報交換の場にもなっています。

少人数のミニ部会で、 それぞれのテーマ について考えよう

出てきた課題から、現在次の5つのテーマで、調査・検討を進めています。月1回の作業部会とは別に、それぞれのミニ部会で話し合いの場をもっています。

- さまざまな情報を発信しよう
- つながりを広げる場をつくろう
- 美しいまち・暮らしやすいまちにしよう
- 制度を越えた支えあうしくみをつくろう
- 安心・安全のまちにしよう

もっと多くの区民の声を聞いてみよう

作業部会のメンバーで検討を重ねるだけでなく、広く区民の声を聞くための活動もしています。

- 概ね小学校区単位での住民懇談会を開催。
- 子育て中の方の声を聞くために、イベントや親子サロン・サークルなどでアンケートを実施。
- グループ・団体などに聞き取りを行う。 など

課題解決のため、 こんなことができるといいなあ

出てきた課題に対しての解決策として、実際にできるかどうかに関わらず、「できたらいいな」ということを出し合いました。

- 誰もが医療を受けやすくするため、詳しい情報の入った医療機関マップをつくりたいな。
- そこに行けば必要な情報が手に入り、いろいろな人と出会えるような情報拠点があればいいな。
- ボランティアグループの交流会を開催したいな。
- 平野区ブランドの製品を販売し、活動資金を作れたらいいな。
- 学校や企業、施設の空いているスペースを借りられないかな。
- ペットを飼っている人どおしが集まって、飼い方のルールづくりができないかな。
- スーパーや店に、障害者向けのサイン（トイレあり、介助します、など）を表示すれば、外出しやすいんじゃないかな。
- まちぐるみで、パトロールや声かけ運動、一戸一灯運動など、防犯対策の活動ができないかな。
- 子どもや高齢者が緊急のときに押せる、街角ボタンがあるといいな。
- 「こんなこと手伝ってほしい」「こんなこと手伝えます」というボランティア伝言板を設置できないかな。

など

この平野区地域福祉アクションプラン策定及び推進に向けて、もっと多くの区民が集まって考える場として、平成17年11月23日（水）〈祝日〉、コミュニティプラザ平野において、シンポジウム等を開催する予定です。詳細については、広報「ひらの」11月号に掲載予定です。ぜひ、ご参加ください。

平野区社会福祉協議会
保健福祉センター運営担当
☎4302-9941
☎6795-2525

今後、さらに区民の声を聞きながら、作業部会で検討を重ねてプラン案を作成し、策定委員会に諮っていく予定です。策定に向けた取り組みで築かれた、さまざまなつながりが、今後アクションプランに基づく住民活動の展開に活かされていくことが期待されます。作業部会は、どなたでも参加していただける場です。平野区のまちづくりを一緒に考えてみようと思われる方は、お気軽にご参加ください。

家族介護者 リフレッシュ日帰り旅行

日時…10月22日（土）
午前9時45分～午後3時（予定）
集合…にこにこセンター（平野東2-1-30）（予定）
行き先…伏尾温泉・久安寺
対象…要介護度1以上の高齢者をご家庭で介護している平野区在住の方
定員…40名程度（申込み多数の場合抽選）
料金…1,000円（当日徴収）
申込み…9月末までに平野区社会福祉協議会へ電話にてお申し込みください。
電話6795-2525



アルコール依存症 Q&A

知っているようで、よくある誤解!

◇意志が弱いのではないかと悩んでいるのではないかと?

依存症は病気です。「意思」や「人格」の問題ではありません。飲酒のコントロールができなくなる病気です。飲酒のために、身体や家庭生活、職場などで支障が出ていても、やめられません。

依存症になった人は、お酒が切れると「離脱症状」が出ます。ひどく汗をかいたり、イライラしたり、手が震えたり、眠れなかったり、幻聴や幻視が現われる場合もあります。それがつらくて、飲まずにはいられないのです。

◇悩みを解決すれば飲まなくなる?

つらい事やストレスを解消するために飲酒をすると考えがちですが、依存症の方は、理由があるから飲むのではなく、理由を探してでも飲みます。

◇少しくらい飲んでも大丈夫?

アルコール依存症になると、飲酒の「ブレーキ」が壊れています。本人が「少しのお酒くらい…」と思って飲むと、一時的にコントロールできたように感じても、すぐにもとの飲み方になってしまいます。断酒する事が大切なのです。本人だけでなく、周りの人が「飲むとダメ」と声かけすることで、断酒のきっかけができます。

(参考:「回復のためのミニガイド⑩ 親せき・職場・友人へのミニガイド」 特定非営利活動法人ASK発行)

今年5月から、相談員・ケアマネジャー・ヘルパーなどの福祉関係職員対象に第2回アルコール問題勉強会(全3回)を開催しました。

アルコール依存症は、身近な病気であるのに誤解が多く、治療に結びつきにくい現状や、個々に支援するのではなくチームで取り組む必要性を感じる機会となりました。

アルコール関連問題を考える ネットワークづくりをめぐって

アルコール関連問題...

この勉強会には、講師に東大阪市でアルコール関連問題に取り組んでおられます。病気を正しく理解

アルコール依存症とは...

- 飲酒のコントロールができなくなる。
- 飲酒行動の異常
- 身体依存
- その結果、身体や心の障害が起こる。
- 家族関係や社会関係が消失する。

お酒をやめるための方法

通院(お酒を止める為の行動を起こす)

薬(抗酒剤)

断酒会などの自助グループ(仲間づくり)

本人やその周りの人が「アルコール依存症」に対して正しく理解する。



られる精神保健福祉士の辻本直子氏に来ていただきました。

アルコール依存症について正しい知識や理解がないために根本的な治療に結びつかず、糖尿病や肝硬変などの内科治療だけ行い、また、飲んでしまふといった現状があります。病気を正しく理解

参加者からは...

今回の参加者は、様々な職種の方が参加していました。「病気の事がよくわかった」「本人の治療については福祉職や医療職との連携が非常に必要」「アルコール依存症は本人が治療するだけでなく、周りの正しい理解・関わりが大切」などの意見が出ました。

今回三回の勉強会を通して、徐々に参加者どうしのネットワーク作りもできたようです。このように少しずつですが、支援するつながりが広がっていく事が期待されています。

平野区社協の賛助会員を募集しています。

平野区社会福祉協議会では、誰もが、この平野区で安心して暮らせるよう、さまざまな事業に取り組んでいます。これらの事業は、各種補助金や共同募金配分金、寄付金や会費によって成り立っています。

区社協では、活動の趣旨にご賛同いただき、ご支援・ご協力していただける方を、募集しています。

皆様の会費は、ボランティア活動や地域活動の支援をはじめ、さまざまな区社協の活動に有効に活用させていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

年会費	
個人会員	1口 1,000円
法人・団体会員	1口 10,000円
※ただし、口数に制限はありません。	

年間を通じて受け付けていますので、直接窓口へお越しいただくか、または郵便局の下記口座へお振込みください。(払込用紙に住所、氏名、電話番号をご記入ください。)

【加入者名】社会福祉法人大阪市平野区社会福祉協議会

【口座番号】00970-8-139180

★すでに賛助会員としてご協力いただいている皆様には、直接、会費納入のご依頼を送付させていただきます。

だれかのために、できること。あなたの善意が赤十字活動を支えます

国際活動、災害救護活動、医療事業、看護師養成、血液事業、救急法・家庭看護法等の講習、赤十字奉仕団、青少年赤十字、社会福祉事業

日本赤十字社大阪府支部平野地区

チャリティゴルフ大会開催

平成十七年四月から七月までの間に、次の方より、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。

- ◆ 善意銀行への預託
 - 《金銭預託》区社協手芸クラブ、橋口勇喜、橋口頼道、平野区小売市場連合会、平野区チャリティゴルフ実行委員会、永和信用金庫喜連支店、区社協職員有志 (順不同、敬称略)

ご寄付ありがとうございました。



平野区社会福祉協議会主催の第七回チャリティゴルフ大会が去る七月七日に開催されました。当日は、梅雨の間をぬって好天に恵まれました。約百人という多くの皆様のご参加があり、交流を深めながら、プレーを楽しんでいただきました。

今大会の収益金は、三十一万三千二百六十九円で、平野区社協善意銀行に預託させていただきました。この収益金は、社協活動やボランティア活動に活用すること、また区内の福祉に関する情報などを、いつでもご覧いただけるよう、区社協のホームページ作成を予定しており、その経費の一部として使わせていただきます。ご協力ありがとうございました。

人権講演会

★日時 平成17年10月15日(土) 午後2時開演(午後1時開場)

★会場 コミュニティプラザ平野 (平野区民センター) 長吉出戸5-3-58

講師 山本浩之 (関西テレビアナウンサー)

テーマ 「いま、守らなければならぬもの」



※入場無料。当日直接会場へお越しください。
主催：平野区人権啓発推進協議会
問い合わせ：平野区役所市民活動推進担当 (☎4302-9801)

人権啓発映画会

★日時 平成17年11月19日(土) 午後2時開演(午後1時30分開場)

★会場 平野区人権文化センター 平野市町3-8-22

上演作品 「石井のおとうさんありがとう」 主演：松平健



ハンディを持つ方と登録ボランティアの外出交流会 和歌山マリーナシティへ行ってきました



車いすにいっぱいのお土産を買い物中

今年度は二回実施を予定しており、その一回目として海鮮バーベキューと買い物目的に、バス一台でスタッフを入れて総勢四十六名にて「和歌山マリーナシティ」へ行ってきました。

雨の中、ハンディを持つ方と登録ボランティアの交流会を開催しました。天候はあいにくの雨でしたが、今回はバスで「和歌山マリーナシティ」へ行ってきました。

先日の交流会は、行き先や下見、当日までの準備など、ほとんどを区社協事務局が行っていました。しかし、前回の交流会の後、「自分達の交流会」という意識を持っていただく為にも、また、ハンディを持つ方の視点で考えてもらう為にも、企画から携わったように思います。



食べきれない程の海鮮バーベキュー

雨の中、ハンディを持つ方と登録ボランティアの交流会は、集合時こそ雨が降っていませんでしたが、バスが走り出すやいなやすぐに雨が降り出し、予定を早めて帰ってくるまで、一度も雨がやむ事はありませんでした。

天候には恵まれませんでしたが、「黒潮市場」でのシーサイドバーベキューでは、四人一組でお腹いっぱい食事をし、マグロの解体ショーの見学等を楽しみました。

帰りの集合時には、皆さん持ちきれない程のお土産を買い、全員無事に帰路につかれました。

雨の中、ハンディを持つ方と登録ボランティアの交流会は、集合時こそ雨が降っていませんでしたが、バスが走り出すやいなやすぐに雨が降り出し、予定を早めて帰ってくるまで、一度も雨がやむ事はありませんでした。

天候には恵まれませんでしたが、「黒潮市場」でのシーサイドバーベキューでは、四人一組でお腹いっぱい食事をし、マグロの解体ショーの見学等を楽しみました。

帰りの集合時には、皆さん持ちきれない程のお土産を買い、全員無事に帰路につかれました。

次回交流会は、毎年恒例のクリスマス会を予定しています。

その為には、今回実行委員会形式で、企画段階からいろいろな方に関わっていただいた様に、プログラムの内容や交流の方法、レイアウトなどハンディを持つ方の視点も

去る七月九日に、「ハンディを持つ方と登録ボランティアの交流会」を開催しました。天候はあいにくの雨でしたが、今回はバスで「和歌山マリーナシティ」へ行ってきました。

ボランティア ビューローだより

今回初めて、実行委員会を作りました

先日の交流会は、行き先や下見、当日までの準備など、ほとんどを区社協事務局が行っていました。しかし、前回の交流会の後、「自分達の交流会」という意識を持っていただく為にも、また、ハンディを持つ方の視点で考えてもらう為にも、企画から携わったように思います。

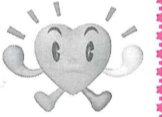
雨の中、バーベキューを楽しみました

雨の中、ハンディを持つ方と登録ボランティアの交流会は、集合時こそ雨が降っていませんでしたが、バスが走り出すやいなやすぐに雨が降り出し、予定を早めて帰ってくるまで、一度も雨がやむ事はありませんでした。

今回は、クリスマス会を開催予定

あなたの力、活かしてみませんか？

連絡先：平野区ボランティアビューロー
平野区平野東2-1-30
☎6795-2200



ここにこセンターでは、下記のようなボランティア活動を募集しています。興味を持たれた活動があれば、どしどしご連絡ください。

～お年寄りの笑顔が待っています！～ 配食ボランティア

ここにこセンターでは、自分で調理をする事が難しいお年寄りに対して配食サービスを行っています。

ボランティアは、自転車の荷台にお弁当を積んでここにこセンターから近い家庭へ配達します。

ボランティア達は、お弁当を配達するだけでなく、お年寄りとお話を交わしながら、ふれあいを大切に活動されています。お年寄りの笑顔にじかに接してみたい方、活動に参加してみませんか？

★活動日時：月～金曜日
11:00～

週1回からの活動でかまいません。
お年寄りの笑顔にふれてみませんか。

～家事の経験を活かしてみませんか？～ 厨房ボランティア



ここにこセンターの厨房では、配食サービスや、デイサービスを利用しているお年寄りのために、おいしい昼食を作っています。

午前中は食事の盛り付け、午後は洗い物が中心の活動です。初めての方でも安心して活動していただけます。

興味を持たれた方は、「厨房ボランティア」として、登録してみませんか？お料理のレパートリーが増えるかも・・・

★活動日時：月～金曜日
① 9:30～12:00
② 13:00～14:00
③ 9:30～14:00

特別な資格は要りません。
週1回からの活動でOKです。

～車の運転が好きの方、集まって下さい！～ 送迎ボランティア

ここにこセンターでは、車いすを使用しなければ外出が困難な方に車いす対応自動車の貸出しや、運転者がいない場合ボランティアが運転し、利用者の通院や行楽など外出のお手伝いを行っています。

現在活動中のボランティアは、40代～70代の男性が多く、皆さん自分のできる範囲で、車いす利用者の外出を少しでも多く実現するように活動しています。利用者の「ありがとう」の声を自分自身のやりがいに変えてみませんか？

★活動日時：月～土曜日
9:00～17:00
のうち依頼に応じて

普通運転免許があればOKです。
車の運転が好きの方、できる範囲で結構ですので活動に参加してみませんか？

～子ども達の元気をもらえるよ！～ おもちゃ図書館

「にこっと」ボランティア
障害を持つ子ども達やお友達と遊ぶのが苦手な子ども達が自由に遊べるように、ここにこセンターでは月2回、おもちゃ図書館を開館しています。



現在、高校生から70代の方まで、さまざまな世代の方が、元気一杯の子ども達と一緒に遊んだり、お母さん達とおしゃべりしながら活動されています。参加された親子がホッと一息つき、元気になるような空間を一緒に作りませんか？

★活動日時：毎月第2・4土曜日
10:30～14:00

年齢・性別・資格は問いません。
子どもが好きな方ならどなたでもお待ちしております。

高齢者・家族・地域の暮らしの相談窓口 在宅介護支援センター だより



在宅介護支援センターは、各地域在宅サービスステーションに設置されています。平野区には、十二カ所在宅介護支援センターがあり、高齢者やその家族・地域の悩みを相談する窓口以外にも、住民の方と協働し、さまざまな取り組みを行っています。今からは、皆さんの身近にある在宅介護支援センターの取り組みをご紹介します。

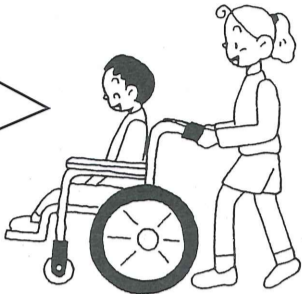
地域の福祉向上に役立ちたい

瓜破地域在宅サービスステーション 西浦則子

在宅介護支援センターでは、地域の皆様からの個々のご相談をお聞きすることはもちろん、地域福祉の向上にもお役に立てれば、と考えながら日々活動しています。

学生たちへ 福祉教育

今年度は、中学校で人権学習の一環として行われた、車いす体験学習のお手伝いをさせていただきました。生徒さんが真剣な眼差し



◇体験学習後の感想文より

- ・以前、体の不自由な人を見かけても声をかけることができず、後悔したことがあった。今度からは思い切って声をかけていきたい。
- ・介助するのは難しかったけれど、もっと細かいところまで気を配る事が必要だと思った。
- ・私たちにっては何でもないとこでも、車いすに乗っている人や目の不自由な人には、怖く感じるところがたくさんあることを実感した。

で話を聞いておられ、関心の高さが見えました。体験学習として行われた、車いすに乗る・アイマスクを装着する・介助をする等の体験は、机上の学習では学ぶことのできない事をじかに感じることでできる貴重な時間

老人クラブでの 介護保険啓発活動

また、地域の老人クラブより「介護保険制度のことを聞きたい」という勉強会の講師としてご依頼があり、お手伝いをさせていただきました。

説明会当日までに、何度か話し合いを重ね、地域の皆様がどの様な事に興味があるのかをお聞きしました。

案内チラシの配布や会場の準備など多くの会員の方の協力で、当日は、

「高齢者虐待」を考える

去る八月二十三日(火)、南ブロック在宅介護支援センター職員・介護支援専門員研修会がクレオ大阪南において開催されました。当日は小雨の降る中、阿倍野・住之江・住吉・東住吉・平野・西成の各区の在宅介護支援センターの相談員やケアマネジャー約二百五十人が参加し、高齢者虐待問題について熱心に耳を傾けました。

日本福祉大学社会福祉学科 講師加藤悦子氏を講師に迎え、「高齢者虐待」をテーマに研修を行いました。午前中は高齢者虐待にはどのようなものがあるのかという話や、高齢者虐待防止法の与野党比較などについてお話しいただきました。午後からは、三つの事例をもとに加害者の気持ちを考えてながら、なぜ虐待が起こってしまったのか、その背景を考える機会となりました。虐待には、身体的・心理的・性的であったのではないかと思えます。また、多感な中学生の時期に、障害を持つて生活をされている方の立場で物事を考えること・自分が生活をしている地域のバリアについて改めて考える機会があることは大変有意義でした。



講師の加藤悦子氏

加藤悦子氏は司法福祉論、高齢者福祉論、特に高齢者虐待・子供虐待に関する裁判事例を研究されています。
《主な著書》『介護殺人』クレス出版『障害者の生活と教育』民衆社『障害者福祉実践論』ミネルヴァ書房



多数の方にお越しただけでなく、パンフレット、図表・ビデオ等を用いて説明し、なニーズに出来ること、複雑な制度を、少しでもわかっていただけるように心がけました。



在宅介護支援センターのスタッフとして地域の方が介護や福祉に興味を持ち、もっと深く知りたいと思

手伝いができることは大

在宅サービスステーションと連携をとりながら活動しています。

今回の福祉啓発の取り組みには、ここのセンターも一

その他行事の案内など、

「和ワわ」をご存知ですか？

これまでに掲載したテーマは…
「脱水」「高齢者のうつ病」
「風邪予防」「転倒予防」
「鼻呼吸のススメ」
…など



毎月、できるだけその季節に応じたテーマを決めて、主に介護予防に関する情報を掲載しています。

※必要な方は、お近くの配布場所にお立ち寄りください。

平野区の高齢者・家族・地域の暮らしの相談窓口 在宅介護支援センター

場所	電話	場所	電話
平野区在宅サービスセンター (にここセンター)	平野東 2-1-30 (平野北地域のステーションも兼ねています) 6795-2525	喜連東地域在宅サービスステーション (博寿荘)	喜連東 3-6-40 6700-2060
加美北地域在宅サービスステーション	加美北 7-1-2 (加美北特別養護老人ホーム内) 4303-7703	長吉西地域在宅サービスステーション	長吉出戸 6-8-21 6769-0001
加美地域在宅サービスステーション (愛和)	加美東 1-6-35 6796-3520	長吉六反地域在宅サービスステーション	長吉六反 4-5-26 6702-4466
平野地域在宅サービスステーション	背戸口 1-16-30 (平野中学校横) 6797-0032	長吉地域在宅サービスステーション	長吉川辺 3-20-14 (特別養護老人ホーム長吉内) 6790-0007
喜連西地域在宅サービスステーション	喜連西 3-15-23 6797-2011	瓜破西地域在宅サービスステーション (てんそう苑)	瓜破西 2-10-10 6703-9712
喜連地域在宅サービスステーション	喜連 2-2-40 (特別養護老人ホーム喜連内) 6790-6666	瓜破地域在宅サービスステーション	瓜破南 1-2-11 (永寿特別養護老人ホーム内) 6760-5070